

製品名: PLAU マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82823**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	48.5KDa

抗原情報

遺伝子名	PLAU
別名	ATF; QPD; UPA; URK; u-PA; BDPLT5
遺伝子 ID	5328.0
SwissProt ID	P00749
免疫原	大腸菌で発現したヒト PLAU (AA: 107-379) の精製された組み換え断片。

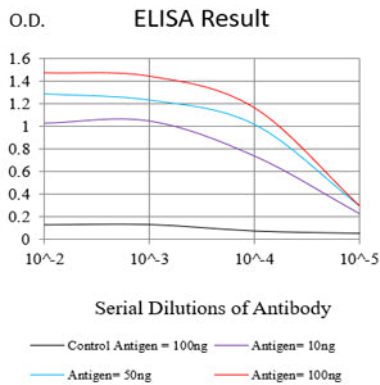
背景

この遺伝子は、プラスミノーゲンをプラスミンに変換する分泌型セリンプロテアーゼをコードしています。コードされているプレプロタンパク質は、タンパク質分解によって A 鎖および B 鎖のポリペプチド鎖を生成します。これらの鎖は、単一のジスルフィド結合

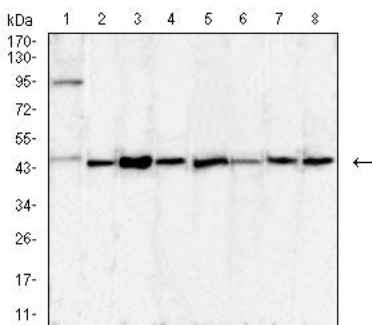
を介して会合し、触媒的に不活性な高分子量ウロキナーゼ型プラスミノゲン活性化因子 (HMW-uPA) を形成します。HMW-uPA はさらに触媒的に活性な低分子量ウロキナーゼ型プラスミノゲン活性化因子 (LMW-uPA) へと処理されます。この低分子量型は、ウロキナーゼ型プラスミノゲン活性化因子受容体に結合しません。この遺伝子の変異は、ケベック血小板疾患および晩発性アルツハイマー病と関連している可能性があります。選択的スプライシングによって複数の転写バリエーションが生じ、そのうち少なくとも1つはタンパク質分解によって処理されるアイソフォームをコードします。

研究分野

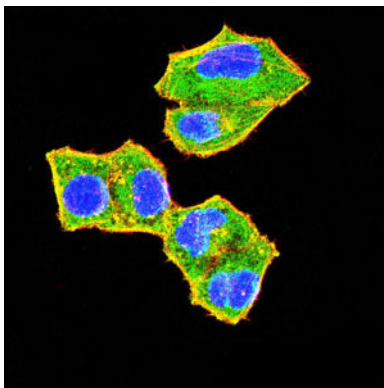
画像データ



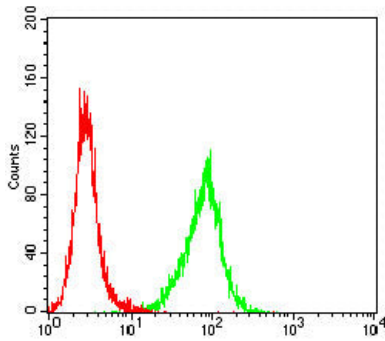
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



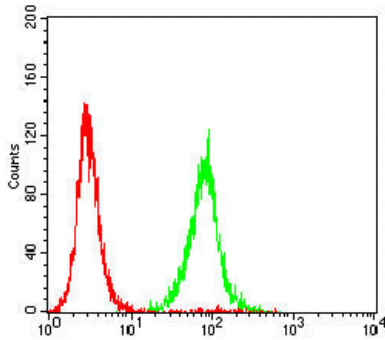
PC-3 (1)、MCF-7 (2)、LNCap (3)、DU145 (4)、HCT116 (5)、A549 (6)、SK-OV-3 (7)および HEK293 (8)細胞溶解物に対する PLAU マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



PLAU マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



PLAU マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



PLAU マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HepG2 細胞のフローサイトメトリー分析。